



こんにちは

村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2022.6.17
№356



作業着姿で植林に向かう議員たち



開会式前には御潜水太鼓が見事な演奏を披露してくれました。太鼓の勇壮な響きが山々に響いて、植樹祭にぴったり！

6.11 佐久地域森林祭・長野県植樹祭が2in1スキー場東側斜面（南平公園）で行われ、議員全員で参加、3600本余りのカラマツの苗を、2m間隔ほどに植えました。穴を掘る人、植え込む人と2人一組で作業。500人の参加者と1時間の間に、3600本が植え終わり、見事な格子状に並んでいました。10年、20年後の生育が楽しみです。50年前に、先人たちがカラマツを植えてくれたおかげで、特養ホーム、保育園などに町産材が使われています。未来の町づくりに役立ててほしいと、願いを込めて植えました。



カラマツ林にハナイグチ(ジコボウ・リコボウ)の増殖に取組む実験

ヒノキなどのカンナ屑で作ったお花



木の香りを抽出する製油採取装置

ヒノキ・スギなどの木から香油を取り出す装置 森林浴と言われ、癒しの効果大きい。

「使い道がまだ…」とおっしゃるので、「入浴剤や枕に浸み込ませて睡眠導入、アロマセラピーの香としてもいいんじゃない」と提案。

オープンガーデン、(看板のある家)「小さな石の博物館」開きます。

ぶらりshindenまち歩き 3年ぶり再開

6・18(土)・19(日) 西塩沢公民館

六川昌幸「温故知新」

昭和初期の春の野良仕事

多彩な西塩沢住民の手仕事

スモーク体験 (午前中)・

ステージも (午後)

「体のゆがみ診断」新企画！

10:00~午前中

19日(日)

木登り (ツリークライミング)

丸太切り体験

西塩沢神社西広場



「雨の日のお田植え」



創作人形 「御柱祭 木落し」



愛知の郷土菓子
おこしもの

今週のパチリ！

愛知県から移住された友人から「桃の節句に作るのよ」と頂いたものが上の右写真、米粉で作るお菓子。米粉をお湯で練って、お雛様や、鯛、菊などの木型に押し込み、型から起こし取り出して赤、緑に色づけて蒸し、食べるもの。

左、右下の画像はヒノキの板に彫り込んだ木型。職人さんが彫り込む精緻なもので、毎年1点ずつ買い揃えるのが楽しみにしているとの事。

我が家では、いただいた「起こしもの」の両面を軽く焼いて、砂糖醤油でいただきました。素朴な甘みが広がりました。

【一般質問より】

その2 意思決定の場に女性を増やすための工夫について質問。

①立科町役場内の役職の割合 課長3人/9課 33.3%

係長も入れると5人/17人 管理職の中での女性割合29.4%

全国平均より多い。

全国の市区町村役場での女性の割合 15.8%(婦人団体連合会「女性白書2021」)

【参考までに】立科町の女性議員 3人/12人、25% かつて5人/12人 42%の時が有
全国 11.9% 2019年 比較するとかなり当町は女性議員が多いと思われませんが、
まだまだ少ないです。

②区・部落の役員に占める女性の割合 立科町

・区長・部落長 令和4年 0人/45人(0%) / 令和3年1人 / 令和2年1人

・班長など区の役員会に出席する役員 令和4年 2人(6.06%) / 令和3年 2人 / 令和2年1人

女性議員が43%を占めている兵庫県小野市の例を紹介し、どのように多くの女性が自治会活動に参加するようになったのか、「参考にして、取り入れたら」と質問しました。

【兵庫県小野市の工夫・努力】

小野市でも、高齢化が進み、自治会の役員の成り手が不足し、何度も同じ人が区長などをすることが多発。そこで、女性に自治会活動に参加してもらうために採った手立ては？

平成25年(2013年)から3年間限定で『自治会役員女性参画推進補助金制度』

役員会に2名以上女性が参画した自治会には
10万円/年 補助

さらに区長・部落長など3役に入ると
+10万円/年 3年間交付

決算235万円

【効果】 制度を設けることで、意思決定の場に女性が立つことへの「理由」ができたこと。

①3年間で、30%の自治会で複数女性役員が誕生。今では50%を超える自治会に女性役員が誕生。

②「女性の視点、新しい視点での取り組みが生まれ、少子高齢化対策、防災・減災等、時代に即した「魅力・活力ある地域」の再構築のきっかけを作る (市のホームページより)

男性の声：「女性の視点、今まで気が付かなかったことがたくさんあり、入ってもらって良かった。」

女性の声：「農道や水の管理など、知らないことがたくさんあって勉強になった。今まで男性に任せていたけど大変だったんだね」と理解が広がった。「女性だって十分やれるよね」と自信に。

【その他の工夫】

・女性リーダー養成講座

...毎年9回 連続講座 10名程度

『おのウィメンズチャレンジ塾』

女性議員を囲んで様々な問題で意見交換をする。今年のテーマ「女性と政治」

・『小野市まちづくりサポーター』公募

女性から見た町づくりについて市民参加で議論し2年間の活動の成果を市長に提言する仕組みがあった。

1999年(平成11年)現市長が「地域の活力維持には女性のあらゆる面での参加が不可欠」との表明があり、町づくりへの女性参画を掲げた首長の姿勢が大きいとの事。

・『小野市 は一と・シップ社会推進条例』
男女共同参画社会の推進条例

・4年ごとの「女性議会」女性団体やボランティア団体・個人が質問できる機会

このように様々な機会を設け、女性が登場し、議論する場面を設定して、女性の意見を反映する場を作ることが、女性の町政への関心を高め、自治会や政治を志す女性を育てることになったといえます。町も大いに参考にすべきではないでしょうか。

